

「宇都宮さん勝たせる町田の会」300人 トランペットやけんじソングで盛り上げ



6月14日、町田も市民連合が中心になり、「宇都宮けんじさんを勝たせる町田の会」を立ち上げ、連日街頭で宣伝を行っています。立憲民主党の伊藤しゅんすけ衆議院議員の事務所を貸してもらっています。2018年の町田市長選での市民と野党の共闘が今に生きていることを実感しています。

6月24日、町田駅での宣伝は、急遽宇都宮さん来れなくなりましたが、松平晃さんのトランペッ

ト演奏や、共産党の池川友一都議、伊藤しゅんすけ衆議院議員、青年、女性など市民弁士が訴えました。蜜を避けながら300人が参加。元気の出る街頭演説になりました（左写真）。

新婦人町田支部の皆さんが、演説会の前にJR町田駅で「宇都宮けんじソング」を歌いながら踊り、盛り上げてくれました（右写真）。（木原秀子）

宇都宮20区選対zoom会議開催（オンライン）



6月22日、宮本徹衆議院議員のよびかけで、宇都宮候補を応援する共産、立憲、社民、緑の党などの関係者や元市長候補の池田（清瀬）、柳下（東大和）氏など28名が参加。参加者は、なぜ宇都宮さんを応援するのかという自らの思いと共に、選挙に行かない人にどう働きかけるかなどの問題意識を交流。また、25日と7月2日の宣伝ポイントの一部変更や、政党のぼりの扱いなど具体的な問題も協議。来週、終盤にむけて再度ZOOM会議をもつことになりました。

候補者カーの街頭宣伝では、応援する政党、立憲民主党や共産党の旗、「選挙に行こう」の旗が並んで立てられていました。

新婦人は独自のプラスターをかかげ、街頭宣伝で活躍しています（写真）。（革新都政をつくる東大和の会ニュースより）

府中勝手連 頑張る

6月25日、生憎の雨の朝となりましたが、朝、中河原駅で「うつけん・府中勝手連」法定チラシを配布し、メガホンで「都政のすべてを、都民のために。つねに弱者と寄り添う弁護士宇都宮けんじさんを都知事に」と呼びかけました。この行動には立憲民主党の稲津・前川、共産党の赤野市議をはじめ11名が参加しました。（丁）

